

講義コード	11C0273701	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	ERE マクロ				矢ヶ崎 将之			第2期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	「ERE」とは、経済学の基礎知識の習得程度と実体経済での初歩的な応用能力のレベルを全国規模で判定する試験である。公務員試験へ向けての模擬試験としても最適である。この授業は主として ERE のマクロ経済学パートを受けるにあたり求められる知識やテクニックを講義・演習を通して学ぶことを目的とするが、ERE に限らず、公務員試験などで扱われる問題も教材として適宜取り扱うことで、公務員試験へ向けての基礎知識を付与することも目的とする。								
到達目標	経済学で使われる基礎的数学を理解し、計算に慣れること。マクロ経済学におけるそれぞれのトピックにおいて基礎的な問題を実際に計算して解けるようになること。最終的に ERE マクロで A ランク以上相当の成績を獲得できるようになること。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱った内容について復習し、問題演習の問題を最低一回は解き直すこと。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション・数学準備 【第2回】 国民経済計算 【第3回】 45度線モデル 【第4回】 乗数効果 【第5回】 財市場と IS 曲線 【第6回】 貨幣市場と LM 曲線 【第7回】 IS-LM 分析 【第8回】 財政・金融政策、流動性の罫 【第9回】 総需要・総供給分析 【第10回】 開放経済：購買力平価・マンデル＝フレミングモデル 【第11回】 開放経済：財政・金融政策 【第12回】 ソローの成長モデル 【第13回】 内生的成長モデル 【第14回】 まとめ I 【第15回】 まとめ II								
成績評価の方法	平常点（10%）、期末試験（90%）								
フィードバックの内容									
教科書	『2018年7月受験用 ERE 経済学検定試験問題集』経済法令研究会編（経済法令研究会）2018年3月（刊行予定）								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									